

愛をこわす

娘への罪悪感から  
幸せを拒む  
恋人

「イングリッシュ・ペイシエント」のアンソニー・ミンゲラ監督最新作

それは、  
真実の愛へと至る、  
唯一の方法。

戦火を逃れ  
息子のために生きる  
未亡人

ジュード・ロウ    ジュリエット・ビノシュ    ロビン・ライト・ペン

ロンドンの過去を壊し  
未来を築こうとする  
建築家

# こわれゆく世界の中で

ミラマックス・フィルムズ AND ザ・ワインスタイン・カンパニー 提供    ミラー・ジュ・エンタープライズ 製作  
アンソニー・ミンゲラ 脚本    ジュード・ロウ    ジュリエット・ビノシュ    ロビン・ライト・ペン "BREAKING AND ENTERING"  
キャスト    ミシェル・ギツシュ    衣裳デザイン    ナタリー・ウォード    ラインプロデューサー    アニタ・オーヴァーランド  
音楽    ガブリエル・ヤレド & アンダーワールド    編集    リサ・ガニング    プロダクション・デザイン    アレックス・マクダウエル  
撮影監督    ブノワ・ドゥロームAFC.    製作総指揮    ボブ・ワインスタイン    ハーヴェイ・ワインスタイン    コリン・ヴェインズ  
製作    シドニー・ボラック    アンソニー・ミンゲラ    ティモシー・ブリックネル    脚本・監督    アンソニー・ミンゲラ

PG-12

12歳未満の方には、なるべく保護者が  
同席してください。

「誰か教えて欲しい——

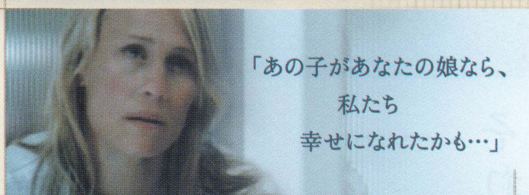
愛しあっているのに、

なぜ心の距離が広がっていくのか…」

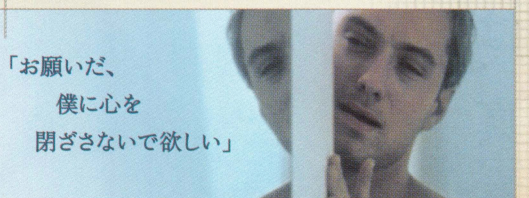
## 「真実の愛とは？」——あらゆる人の“永遠の問い”に名匠アンソニー・ミンゲラが答える。

アカデミー賞9部門を独占した「禁断の愛」の物語「イングリッシュ・ペイシエント」。“究極の純愛”を買いた「コールド マウンテン」。そしてついに本作で、ミンゲラ監督は“真実の愛”その本質に迫った。

現代のロンドンを舞台に描かれるのは、ふたりの対照的な女性の間で真実の愛を求めてもがくひとりの男の《心の旅》。主人公ウィル役に「コールド マウンテン」であらゆる女性を魅了したジュード・ロウ、繊細な恋人リヴ役には、「美しい人」のロビン・ライト・ベン。そして、情熱的な未亡人アミラ役にアカデミー女優ジュリエット・ビノシュ。3人の完璧なアンサンブルが観客を釘付けにする。さらに、ミンゲラ作品で数々の賞に輝く作曲家ガブリエル・ヤレドとUKダンスシーンをリードするアンダーワールドのコラボレーションによる美しく透明な旋律がこの不朽のラブストーリーを彩る。果たして、「真実の愛とは何か」という永遠の問いに、監督ミンゲラが下した答とは…。魂を揺さぶる感動のラストが観る者を圧倒する。



「あの子があなたの娘なら、  
私たち  
幸せになれたかも…」



「お願いだ、  
僕に心を  
閉ざさないで欲しい」

## 人はあやまちをくりかえす——切ないほどに求めてしまうものがあるから。



「もし、夢が叶うなら、  
何を願う？」



「息子以外の  
過去を変えるわ。  
あなたは？」

ロンドンのキングス・クロス再開発地区。そのプロジェクトを担う建築家ウィルは、美しい恋人リヴと彼女の娘と暮らしている。だが、リヴは心に病を持つ娘への罪悪感から、心のどこかでウィルを拒んでいた。愛しあっているのに心が触れ合えない…その閉塞的な状況の中、彼のオフィスで窃盗事件が起こる。犯人の少年を追いかけてその身辺を探るウィルだが、少年の母親でボスニアから戦火を逃れてきた未亡人アミラと言葉を交わすうちに、彼女に魅かれてゆく。そして、ふたりがキスを交わし、心が触れ合えたかに思えた瞬間から、何もかもが音をたてて壊れていった——。

誰もが愛を探し、求め、もがく中、運命は残酷なまでに彼らの心を試すのだった。すべてを壊し、虚像を剥ぎとった後にしか、人びとは真実にたどりつけないから…。



# こわれゆく世界の中で

MOVIES.CO.JP

2006年/イギリス映画/シネスコ/119分  
"Breaking and Entering" / 日本語版字幕・松浦美奈  
配給:フエア ビスタ インターナショナル(リベロ)  
ARTWORK © 2006 THE WEINSTEIN COMPANY. ALL RIGHTS RESERVED

日比谷・東宝映画街 / 全席指定制 (初回を除く)

# シャンテシネ

03-3591-1511 <http://www.chantercine.com>

## 4月G.W.

# 真実の愛のロードショー

渋谷・東急百貨店本店ヨコ

# Bunkamura ル・シネマ

TEL:03-3477-9264 <http://www.bunkamura.co.jp>

Bunkamuraを支えるオフィシャルサプライヤー

信濃屋建設 HITACHI 東急電鉄 TOKYU

定員制・入替制 | お立ち見及び上映開始後の入場はできません。前日までに混雑状況をご確認の上お出かけ下さい。